感動通信

National Committee of Dairy Farms for Schools

Vol. 66 **MARCH 2022**



0

MARCH 2022

3年度

酪農教育ファーム認証研修会を 開催しました

令和4年2月25日(金)及び3月3日(木)に、酪農教育ファーム認証研修会を開催し、

7牧場と43名の酪農教育ファームファシリテーターが新規認証を取得しました。

新規認証牧場

- 有限会社北広牧場(北海道)
- 宮城県農業高等学校(宮城県)
- 小針勤牧場(栃木県)
- 三浦牧場(千葉県)

- 片倉牧場(神奈川県)
- 日本獣医生命科学大学 富士アニマルファーム(山梨県)
- 森牧場(福岡県)



《3月3日参加メンバー》



研修会の内容

はじめに、主催者挨拶・最近の酪農を巡る情勢説明、アイスブレイクを行ったのち、2月25日は千葉県農業共済組合の天野 はな氏、3月3日は酪農学園大学の村田亮氏による「酪農教育ファーム活動における安全・衛生・防疫対策の基準」の講演を 実施。午後からは、NPO法人いぶり自然学校代表理事の上田融氏による3時間のワークショップを行いました。オンラインで ありながらも、ブレイクアウトルーム機能を活用し、参加者同士がコミュニケーションをとりながら、実践的に酪農教育ファー ムファシリテーターの役割を学ぶことができました。





酪農教育ファーム活動を

実践するにあたっての

どうしたらよいかわからない.....

●体験に来た子どもから「なぜ牛は白黒なの?」と聞 かれて、答えられなかった。みんなならどう答える?

酪農教育を学校の授業に取り入れてみたいけれど、

https://forms.gle/yLJDQh 83put4kpWr7

アンケートフォーム内に 記入欄がございます

などなど、どんなことでも構いません。お寄せいただいた「お悩み」は、今後、誌面で



「お悩み」をお寄せください。 取り上げていく予定です!

感動通信

Contents

Tace to rate

- ①小学校向け動画『牛にゅうってこんなにスゴイ!』公開中
- ②春号プレゼント企画

COVER STORY

p. 4 − p. 7 障がいを抱えながら 牧場でいきいきと働く

「将来は酪農家になりたい」という子どもを増やしたい!
b. 8 -p. 10 地域に根差した出前授業
もーもースクールin船橋











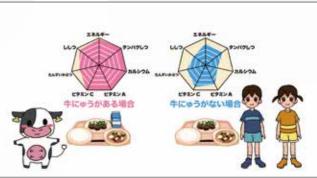
facilitator x cow x education

牛にゅうってこんなにスゴイ

(一社) 中央酪農会議では小学校向けの動画を制作し、 3月末からYouTubeで公開中です。

給食で身近な牛乳をきっかけにして、牛乳の栄養、乳牛、酪農家の仕事や酪農家を助ける仕事など、 牛乳が届くまでの内容を5本のシリーズにまとめています。 是非、食育、給食の時間などの指導にお役立てください。





アンケートに答えてプレゼントをGET / ·······

春号プレゼント企

コロナ禍の影響が続く中、工場で処理しきれない生乳の発生が危惧された 「年末年始」 は、消費者の皆さまが応援し、牛乳を飲んでくださったおかげで、危機を乗り切ることができました。 本当にありがとうございました。

業務用需要が回復しない中、これから5~6月にかけて、生乳の生産量はピークを迎えます。

乳牛は生き物ですから、消費が減ったからといって、生乳の生産量を簡単に減らしたり、増やしたりすることはできません。 酪農家が搾った生乳を無駄にしないため、業界を挙げて様々な取り組みを進めています。

皆さまも、春も引き続き、おいしい牛乳をご賞味ください!



4月1日発売の 限定商品(1ケース)が 10名様に当たる!

今回の感動通信について、

ぜひご意見をお聞かせください。

今後の紙面づくりの参考にさせていただきます。

※回答時間の目安は2分程度です。
※お預かりしたお客様の個人情報はプレゼントの送付のみに利用致します。

回答はこちらか

アンケートフォーム内に 記入欄がございます

> https://forms.gle/yLJDQh 83put4kpWr7



^{締め切り} 2022年 5/15(日)



体の何倍もあるトラクターを洗車します

挑戦しているとのこと。小松さんが牛 ら笑顔がこぼれます す」と一條さんが話すと、小松さんか 「きれいにしてくれて、助かってい 真解説もアド ました。トラクターの洗車や整備など 今では、除角作業や分娩の補助に

い、角を切る場面を再現しまし の役、参加者に除角器具を持っても た。器

に、萊夢のスタッフは「仕事に取り

事の様子や、ファシリテ

ぶり

の出産について解説する内容です。 乳房で血液が乳に変わる仕組み、子牛 牛の特徴やえさを消化する胃の様子、 業が始まりました。「牛のからだ」は乳 芝居教材「牛のからだ」をセット んは紙芝居の台本に沿ってよどみ

かかります。正直に、そ

を

働き、 や合いの手の掛け声が出て たようで、会場の参加者からも、質問 す。笑い声に小松さんの緊張がほどけ 見せると、会場はどっと盛り上がり 声を出して牛を追う場面を実演して るところですね」と小松さ さんの投げかけに、「牛を放牧して は何をしているところ?」という一條 た画像が映し出されます。「この写真 レイに小松さんの仕事ぶりを記録 條さ 仕事を支えています。 んのリ ドで、大型ディスプ

② ウソはつかないこと

ないこと」を紹介し

ました。小松さ ③ 大声を出 3原則」として「① けがを

ないこと

んはそこに「けがをすると周りに迷惑

仕事を説明します。まず「仕事の心得

小松さんが日々、担当している酪農の

員でも

あり、牧場では小松さんと共に

ま

す。一條さんは障害者職業生活相談

した一條重人さんがサポ

トに入

さんを見つめます。集まる視線に緊張 話が聞けるとあって興味津々で小松 葉を加えて伝えます。参加者は先輩 かさないようにします」と、自分の言

る様子を察して、この日、同行

10分ほどで紙芝居が終わると、次は

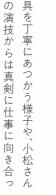
なく話を進めていきます

餌づくり、ブラッシングとやることが いっぱいです。「きれいな牛床には 60頭の牛の世話は、牛床の清掃から も牛が寝て リブが入るようにな いるんです」と、写 ている姿が想像できました。

仕事の話が終わ

、最後に小松さん

おじ 夢の仲間たちが小松さんの下に駆け寄 話。約30分のプログラムが終わると、萊 話、酪農の仕事の話、そ いさんが、地域で子どもたちを楽しま 昔話です。約30年前に小松さんのおじ お話は地域の薬師如来堂にまつわる は紙芝居で授業を締め 酪農業に就いて 楽しそうに話をしていま いさんから受け継いだ地域の昔 いた紙芝居だとい 丸2年。日 います。牛の 小松さ 々の仕





出前授業が終わり、参加者と談笑する小松さん

障がいを抱えながら

牧場でいきいきと 働く

「酪農を通して食やしごと、いのちの学びを支援する」ことを目的に行う酪農教育ファーム活動。 その担い手である「酪農教育ファームファシリテーター」は、消費者と酪農とをつなぐ架け橋となる 存在です。2020年度に認証を受けたファシリテーターの一人、小松紀仁さんは、地域の牧場で働 きながら、学校や障害者施設などでの出前授業の講師としても活躍しています。自らの仕事を語る ことは日々の自信とやりがいにつながり、他の障がいを抱える仲間のロールモデルとなるだけでな く、周囲の人たちに、多様性を尊重する社会のあり方を提起しています。













う酪農教育ファ

ム活動において、

消費者、特に子ども達の「食やしご

ソンとなるのが、情熱をも

校などで教育関係者と連携しながら行

全国の酪農家や関係者が、牧場や学

● 出前授業が行われた多目的ホール ② 慣れた様子で牛のからだについて解説する小松さん ③ 牧場でのファシリテーター活動の一コマ 4 年舎の清掃 6 餌づくりの様子 6 トラクターの洗車

年3 シリテー

月末現在、全国で

6

0

ター

が認証を取得し、年

ームファシリテー

ター

です。20

したセンターで、小松さんも牧場で働

- ショップを営むなど地域に根差

体験をサポ 間約30万人(2019年度実績)の酪農 と、いのちの学び」を支援する酪農教育

小松さんは2020年度に酪農教育 業に従事する小松紀仁さんがいます。 萊山(やくらいさん)のふもとで酪農 知的障がいを抱えながら、加美町の薬 宮城県を中心に活動する酪農教育 ムファ 、シリテ・ しています ータ タ 0)

ました。 や精神障がいを抱えた利用者が、べ 授業を行いました。萊夢は知的障が 立支援センター「萊夢(らいむ)」で出前 祉サービス事業所、加美町立障害者自 受け、今年度より本格的に活動を始め 1月下旬には、加美町にある障害福 の認証を

前方の演題には木製の紙芝居舞台が り、講師の小松さんを拍手で迎えます。 利用者約3人と施設のスタッフが集ま き始める前はここに通って 施設内の多目的ホ あります。ここに酪農教 ールには、萊夢の いま

ロナ感染症拡大防止の観点から見合 面もありましたが、ファシリテー が伝わった。収入も増え、趣味も に牧場に来てもらい、牛のかたわらで わせていますが、いずれは子どもたち ようになりま に、長時間話し続けることができる つと、一言も出なくなってしまう場 に目を見張ります きたのでは」と、小松さんの成長ぶり める生活を送っていて自信に満ちて んで、自立への道を歩んで 現在、牧場に人を招くことは新型コ んと一條さ として出前授業を経験するうち タ んの次の目 を務めるのが 。以前は人前に いる 様子 楽し

紙芝居舞台をスタンチョンに見立て、小松さんが牛となって

除角の様子を再現! 右は実際の徐角作業の様子

感動通信 vol.66 MARCH 2022

酪 を通じ て

す べ ての 人が幸 せ で

持続 可能な社会に

貢 献した



小松さんと共に働く 一條さんインタビュー

題なく認証取得できると言っていた研修会を受講することができれば問

の方と同様に書類審査を通過し、認証

だけました。感謝しています。 ター認証を取得して、小松さんがファシリテ わった点はありますか?ター認証を取得して、

自己表現を獲得して、酪農教育ファ じます。小松さんは読み聞かせという 認めてもらう機会が少ない 会のさまざまな障壁に直面し、人から に驚かれます。障がいを抱えた方は社 でいきいきと話をする小松さんの姿 さんのことを知る人達はみんな、人前 私が小松さんと出会う前から小松 ように感

モチベーションの向上にもつながっ できて嬉しく思います。日々の作業の 長していく様子を近くで見ることが テーターとして回を重ねるごとに成 います。酪農教育ファームファシリ います。なかなか出来ない体験だと思 ち、自分の取り組んでいる作業内容を ムファシリテーターとして壇上に立 人から称賛を浴びて の よう努めています。

工夫は? 小松さんと共に働く上で

製薬会社で身につけた品質管理

さんには牧場へ転籍してもらい障害者 じめて一年が経過したのを機に、小松

して現在に至ります

を抱えていることを伝えたところ他 した。事務局には、小松さんが障が ムファシリテーターのことを知り を抱えた方と共に牧場での作業がス 設外就労の受け入れ先となり、障がい 援センター「萊夢」さんの協力のもと施

からの付き合いです。施設外就労をは

しました。小松さんとはその頃

農のあり方を模索するようになり

9年に加美町障害者自立支

方に疑問を感じるようになり、さまざ

、乳量だけを追い求める酪農のあり

まな人と協働し、多様性を尊重した酪

従事しています。東日本大震災を経験 宮城県加美町の薬萊山の麓で酪農業に 職業生活相談員として勤務しながら、

私は製薬会社の特例子会社で障害者

いて教えてください小松さんとの出会

いにつ

小松さんが酪農教育ファ

いました。しかし、小松さんが自ら挑 う話は聞いたことがないなぁ、と戸惑 ましたが、牛に紙芝居を聞かせるとい せるという話を耳にしたことはあ りました。牛にクラシック音楽を聞か 「読み聞かせをやりたい」と回答があ ありますか?」と問いかけたところ、 ングで、「新たに取り組みたい作業は 小松さんが牧場に転籍 取得することになったきムファシリテーター認証 かけは何ですか? ター認証を たタイ 0

ることで、

ろ調べていたときに酪農教育ファーか実現させてあげたいと思い、いろい戦してみたいと訴えてきたので何と 発表する ていると思います

ることで、自らの成長を実感してもら 返しの作業に対して評価を ず確実な作業を行ってくれます。繰り ました。今のルーティンが決まるまで るよう限界を見極めながら行ってきうにゆとりをもって作業に取り組め ていきました。同時に怪我をしないよ プを基本に小さな成功体験を繰り返 松さんと二人三脚で、スモ・ 視化、整理整頓を進めてきま 更、作業の標準化や目印を付けての可 見直し、単純でわかりやすい作業に変 ため、慣れや感覚で行っていた作業を めています。酪農業は家族経営だっ 全・安心な作業環境を整えるように努 職場での保全の知識を水平展開し安 し重ね、できる作業を少しずつ増やし 1年近くかかりましたが、手を抜か -ルステッ した。 あげ

変



毎日、一輪車で乳牛に干し草を与えます

今後についてお聞かせください。

すべての人が幸せで持続可能な社会 のあるなしではなく、酪農を通じて、 て障がいを抱えた方に働く場を提供 乳製品の加工や、カフェの経営を通じ 活動を行っていきたいです。今後は、 障害者雇用の架け橋となれるような 心に働ける りの工房」では、小松さんの読み聞か 能を広めたいと感じたためです の読み聞かせの才能を知って、この才 う任意団体を設立しました。 に酪農業とは別で「もりの工房」とい に貢献したいです して行きたいと考えて までの取り組みを多くの方と共有し せや、障がいを抱えた方でも安全・安 小松さんが酪農教育ファ ように工夫して として活躍し始めた頃 人手不足に悩む農業と います。障がい きたこれ 小松さん ムファ

重人

大好き

な

み

聞

か

せ

が

できる

の

が

楽

e-mail:woodsfactory.2020@gmail.com

もりの工房代表

酪農

教

育

フ

P

ム

小松さんインタビュー

フ

P

シリテ

タ

の魅

カ

ですか?そしまったのはなぜのアッシリテーター認証を取

残っています。 しまったそうですが、紙芝居は今でもらです。僕が小さいころにもう辞めて 昔、子ども達に紙芝居を見せていたか く楽しかったのと、僕のおじいさんが いったことがありました。それがすご 稚園の子ども達に読み聞かせをしに (特別支援学校の)中等部のころ、幼

す 牧場の か? 仕事 は 1) か が

で

テーター

酪農教育ファームファシリ

ことに挑戦したい

説戦したいですか。- としてどのような

放牧場まで乳牛を移動させることも仕事です

いっと引っ張られることもあります。な仕事が多いです。牛舎で牛に腕を 仕事は13時から16時までですが、大変

場へ招き、牛に触れたり、牧場の空気を肌

コロナが落ち着いたら、多くの方を牧

は、ほぼありません。 みです。仕事をする上で叱られたこと みです。仕事をする上で叱られたこと

ファシリテーター

として活動していきた

で感じてもらいながら酪農教育ファ

いです。また、コンピュー

を使えるよ

すごく変わりました! たか? なって、生活は変わりまし牧場の仕事をするように 前 より お

> らいたいです。 で生き生き

などを使った動画の配信を活用し、牧場

うに勉強したいです。YouTube

なゲ・ うれしいですね。 給料をいただくようになって、大好 ームを買えて休日に遊べるのが



紙芝居舞台が乗った自転車を押し颯爽と登場します

域に根差 した出 前

令和4年3月16日、千葉県船橋市立南本町小学校で、乳牛を連れて行く出前授業・もーもースクールが 実施されました。当初1月に実施を予定していた中、コロナ禍の影響を受け延期となっていましたが、

今年も来てくれたことに子どもたちは大喜び。そして、牛と同じくらい子どもたちに人気のある



A 前職は船橋市の小学校の総合 小千代市では、小学校の総合 本年で17年目になります。 本年で17年目になります。 元々、牧場で教員の初任者研修の言葉すら知りませんでしたが、 までは酪農教育ファームというと声を掛けられていました。それこともあり、認証を取得しないか 認証牧場を増やそうとして 業学習を行っています。前職が教的な学習の時間の一環として農 認証を取得して取り組んでみよ 受け入れをしていたこともあり、 「関東販連」)が酪農教育ファ 乳販売農業協同組合連合会(以下 を受けました。また当時、関東生 ら農業学習の指導者として 員だったとい うこともあ たが、 依頼か () た

なんとか3月に開催することができました。

この学校ではも一も一スクールが年中行事として根付いています。毎年のように来てくれる牛さんが 千葉県八千代市のファシリテーター、加茂太郎氏が大活躍するもーもースクールとなりました。



「牛乳が好きな人~?」と質問する加茂氏とそれに答える子どもたち

もースクールを実施する際は、の主催で実施しています。もーては、八千代酪農農業協同組合

した。八千代市以外の市にクールに取り組むようにな

。八千代市以外の市においルに取り組むようになりま

関東販連の事業を活用して、

乳体験車を借りて乳牛を連れて

千葉県八千代市にある加茂牧場外観と牛舎内。中央下はZoomでインタビューに答える加茂氏

ますかつ のように運営されてい 专 1

加茂牧場

ースクールはど

A で日程調整し、八千代市と船橋市合わせて毎年13~14回を船橋市合わせて毎年20~14でする。 希望があった全ての学校 る南本町小学校で実施しています。^ なりま 牛が来るというのがお決ま根付き、2年生になれば学 か来るというのがお決まりに付き、2年生になれば学校にールが学校の年中行事として南本町小学校ではもーもース した

行っていますか?

教育ファ

ム活動を

小学校の学習指導要領に

う言葉は

普段はどのような酪農

題です ます の牧場の従業員、仲間の酪農家テーターでもある私の妻やうち 話、搾乳 者を育てて など基本的に5名で運営して ,ーターでもある私の妻現在は私を中心に、フ す。費用的な問題も含め、後:、搾乳体験、子牛との触れ合 体験の内容は、酪農家 ね いくことが最大の やうシ \mathcal{O} 課継 ちリ お

えるようになりましちに酪農について伝

いて伝えたいと考

した。そこで、

研修の受け入れは行っていまし

たが、一般消費者、特に子どもた

を取得する前から教員の初任者れていないのが実態です。認証

いますが、教科書には反映さ

た 口 か? ナ禍の影響 実施するうえで、 はあ ス ク りま ル 1 を

畜産協会の主催でもーもース望が増えてきたため、八千代市牛も連れてきて欲しいという要

を行ってきたなかで、学校から身一つで学校に出向く出前授業する農業教育の一環で、自分の八千代市の教育委員会が推進

を実施するようになりま

した。

て、年に数回、牧場での受け入れ市の畜産協会に働きかけをし

が、希

きる幾会を求めているのかなとくなったことで、外部と交流で学校行事として校外に出られな増えています。こここれに 思います 望校はコロナ禍以前に比べ逆に なるなど影響はあります (は、もともと空酪農教育ファ: りやむなく中止や延期に学校側の感染状況等によ

る意識が高 意識が高く、コロナ禍ともと安全・衛生・防疫育ファーム活動におい

ばお聞かせくださ されてきたなかで、 残るエピソ 地 专 域 スクー に根差 L ルを継続 が たも た あ れ 象

は涙する方も 聞いている保護者の方のなかに ↑ する中で、母牛と子牛に 子どもたちに酪農の話を おられます。

子どもが「絶対に行く」と言ってよ」と声をかけると、ほとんどの に「乳しぼりが上手だね。 になったらうちの牧場で働きな また、搾乳体験で子どもたち れるんです。 おとな

いう子が増えてくれれば嬉しいでなく、将来の夢は酪農家だと こすね。いう子が増えてく 野球選手やサッカ ・選手だけ

せくださ 3 理由や想 授業に取 地域に根 り組 5 差 L を お聞れ出 か 7 前

お、子ども 私自身、船

の橋

頃の

は街

農業に

わることはありません。だからといって特別に対策が変

感動通信 vol.66 MARCH 2022

中心に、ファシリテーターと

地元の千葉県八千代市を

して12年間、

酪農教育ファ

いました。

認証取得のきっ

かけを

お

ファ

ァ ト ト 経

と酪農教育な酪農家になる

0

緯

せください。

の加茂太郎氏に「地域に根差 ム活動を続けている加茂牧場

した出前授業」への想いを伺

飼養衛生管理基準の自己点検を



感染症対策を徹底しよう!!

国内で口蹄疫や豚熱など経済的に大きな損失をもたらす 家畜伝染病の発生を防ぐために、伝染病の侵入防止、発生 予防を目的として、家畜所有者が守るべき「飼養衛生管理 基準」が定められています。詳細は農林水産省ホームペー ジに掲載されており、逐次改訂されるため小まめな情報収 集が重要です。基準を遵守できているかどうか同ホーム ページ上のチェックリストで自己点検してみましょう。…とは いえ、牛では38項目、記入欄も60を超えており、一度に網 羅、把握するには少しハードルが高いかもしれません。酪農 教育ファーム活動として、特に気にしていただきたい部分に ついて触れてみたいと思います。

まずは「家畜防疫に関する最新情報の把握及び衛生管 理の実践」ですが、テレビやインターネットからの情報で構 いません。感染症の発生動向について随時アンテナを拡げ ておきましょう。同じ国内であっても、地域によって流行状 況が変わってきますので、使用する消毒剤の強弱や見学者 受け入れ態勢のマイナーチェンジが必要となります。また、 「飼養衛生管理マニュアルの作成及び従事者等への周知徹 底」ですが、ホームページの例を参考に、まずはフロー図か ら作成してみてください。飼養衛生管理基準では様々な場 面で「記録の作成及び保管」が求められますが、スタッフが 共通の認識を持って臨まないとなかなか習慣化されないの が"記録"です。と言いながらも、私の研究室でも油断すると 実験室入退記録が閑散としていきます。定期的な記録 チェックとスタッフへのフィードバックもマニュアルに明記し ておくと効果的かもしれません。

酪農教育ファーム活動において、最も注意すべきは病原 体を入れない・拡げない・持ち出さない、の三原則です。衛 生管理区域へは必要のない者や海外からの入国者など病 原体を持ち込むリスクの高い者の立ち入りを制限した上で、 立ち入る者には十分な洗浄・消毒を実施します。洗浄・消毒 を適正に実施しやすい環境づくりを農場側が積極的に取り 組むことも重要です。区域から退出する際にも再びこれらを 徹底することはもちろん、注意したいのは区域内での動線 です。専用作業着やブーツカバーの更衣前後で経路や見学 ルートが往復したり交差していたりしないでしょうか。一方 通行の動線に留意されていれば、万が一病原体が持ち込ま れてしまった場合にも、区域内での拡散を最小限に抑える 効果が期待できます。

新型コロナの流行によって対面での活動が制限される時 期が続きました。逆に今後「生の体験」が強く求められる時 期がやってくるはずです。感染症の対策を徹底し、より充実 した酪農教育ファーム活動が実践される日が一日も早く来



酪農学園大学 獣医学群 獣医学類 獣医細菌学ユニット 講師 むら た りょう

研究、平成18年~平成22年 北海道大学(獣医学研究科 公衆衛生学教室)でウエス トナイル熱や日本脳炎を研究、平成22年~平成26年東京農業大学(畜産学科家畜

り組むし 農家個 ることをお勧めします。協、行政の担当部署などに なこ 、各地域の畜産協会や 入っ けで ませ や

 \mathcal{O} を提示 スは? ては学習 0) 、 学 校 は来ては学習効 の目標 け ば しを 沿 高 校 に相談す います。。地域の、ってい な つ め な ん。酪 ح たいら ŧ でれ つ







シ

タ

みた

にアドと思う

前 6



校長先生の話

10

活酪

放には

酪

ジ農

がに

牛の胃が4つあることをパネルを使って説明

ムした人生

酪農

 \mathcal{O}

中

は、

ある仕事だと感じる

1)

P

ると ま

うことを

を

我

必要

 \mathcal{O} Þ 教

会的

と地 لح

意義

感じ

もーもースクールを開催された 船橋市立南本町小学校の石井久隆校長より



船橋市立南本町小学校 石井 久隆校長

コロナ禍にあって、外部との交流だけでなくクラス同士の交 流も制限され、授業参観などの学校行事も中止せざるを得ない 状況でした。1月に予定していたもーもースクールを延期し、状況 が落ち着いたことを受け、3月に開催することができました。

毎年、加茂牧場さんのご協力をいただき、2年生の生活科で も一も一スクールを開催しています。加茂さんの子ども視点での 講義が素晴らしく、加茂さんのお人柄も魅力的で、年中行事とし て開催するようになりました。

加茂さんは八千代市で酪農業を営まれていますが、加茂さん の前職が船橋市の教員だった繋がりでご紹介いただき、今日に

至っております。

3年生の校外学習において訪問を予定していた企業からコロ ナ禍による影響で断られてしまったときに、加茂牧場さんに牧 場体験をお願いしたところ、快く引き受けていただき本当に助か りました。2年生のときにも一も一スクールで学校に来てくれた 牧場に行けるということで、子どもたちも喜んでくれました。

実際に体験することで得られる「学び」こそが重要だと改めて 感じています。今後も、もーもースクールを継続して実施してい きたいと思います。

感動通信 vol.66 MARCH 2022